

## \* \* 継 承 \* \*

今年も暑い8月を迎えました。原爆の日から、そして終戦から65年目の夏です。夏休みでもあることから、戦争について、平和について考える良い機会となるでしょう。市立図書館の建物の中にも、救護所メモリアルという施設があります。図書館の建っているこの場所には戦時中、新興善国民学校があり、被爆時になんとか損壊を免れた校舎は臨時救護所となって、多くの負傷者が運び込まれたそうです。この救護所メモリアルは、現在「被爆遺構をさるく」というテーマのさるくコースにも組み込まれています。(※期間限定のコースです)

これまで長崎市立図書館の夏休みには、故・吉田勝二さんの被爆体験の講話と白鳥純子さんによる被爆紙芝居がありました。「吉田さんはこの図書館が完成するのを待ち望んでいて、この図書館で子どもたちに紙芝居を聞いてほしいといつも言っていたんですよ」という言葉を白鳥さんから聞いたことがあります。4月、その吉田さんがお亡くなりになったというニュースを聞いた時は、私たちは大変驚きました。いつも元気いっぱいユーモアあふれる印象だった吉田さんの突然の訃報だったからです。

長崎市立図書館の平和に関する取り組みは吉田さんから始まりました。市立図書館が出来たことで吉田さんと出会った私たちが、彼の遺志を受け継いで何ができるか。図書館全体で考えていきたいと思っています。

### 『私たちが伝える被爆体験』 (紙芝居)



吉田 勝二 / 原作  
長崎市立桜馬場  
中学校 / 製作  
児童 紙芝居(館内)  
絵本は貸出できます

### 『ヒロシマ・ナガサキ』



立命館大学国際  
平和ミュージアム /  
監修  
岩波書店  
2階一般 319.8ヒ

### 『被爆者 60年目のことば』



会田 法行 /  
写真文  
ポプラ社  
児童 平和資料  
319ア

長崎市立桜馬場中学校の生徒が、故・吉田勝二さんの被爆体験をもとに製作した紙芝居。原爆の恐怖・痛み、そして2度とあの苦しみを味わってはいけない、と私たちに訴える。

原爆被害の実相から、戦後の被爆者の苦しみ、核廃絶運動、現在の核をめぐる状況まで、多分野の専門家による詳細な解説と、膨大な写真関連資料をもとに紹介する。

広島・長崎に生きる6人の被爆者のことばを、写真とともに紹介する。被爆体験が歴史上の出来事などではなく、いまなお深い悲しみが消えることなく彼らを包んでいることを教える。

火曜日は休館です  
お盆も開館しています  
開館時間  
10:00 ~ 20:00



### 8 August

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

### 9 September

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

こども月にマナーアップキャンペーンイベント

図書館の正しい利用の仕方を知ろう！

# 図書館マナー人形劇

こどもたちに図書館の正しい利用の仕方を知ってもらおうと、6月26日(土)7月10日(土)に図書館マナー人形劇『まあちゃん はじめてのとしょかん』を上演しました。



楽しい人形劇にこどもたちは釘付けです

「騒がない」「お菓子を食えない」「本を大切に扱おう」など図書館のマナーをこどもたちに分かりやすく伝える方法はないだろうか？との思いから、図書館初の人形劇を上演することになりました。職員がストーリー構成を考え、こどもたちに楽しみながら図書館のルールを学んで欲しいと、練習に励みました。

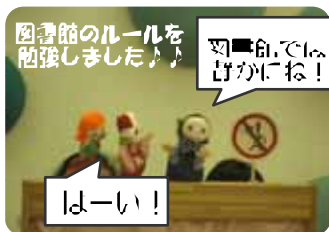
当日はたくさんのこどもたちが人形劇を通して図書館のルールを勉強してくれました。

たくさんのご参加、ありがとうございました。



人形劇のストーリーは

図書館の職員が考えました



図書館のルールを勉強しました！

はいーい！



図書館で静かにね！

図書館のルール分かったかな？



今日から図書館の達人です！

無関心ではられない！家計に役立つ！就活に役立つ！

「ぜひ知っておきたい！お金やモノのしくみ」

# 日経新聞の読み方講座

昨年大好評だった「日経新聞の読み方講座」。今年は7月9日(金)に、日経新聞の読み方の基本や、情報収集の仕方、そして日本の経済について初心者向け講座を開催しました。



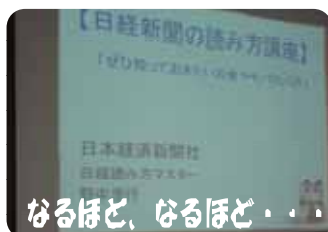
皆さんとても熱心に耳を傾けていました！

第2回目となる「日経新聞の読み方講座」では、講師の野中浩行さんに、経済通になるための経済データの読み方や、経済ニュースを見る上でのポイント“逆三角形のルール”、“ヨコ読みのススメ”などを詳しく解説して頂きました。

参加者の中には「為になり、危機感を持てた。今後の日本を見据える上でこのような市民レベルの勉強の機会が必要になると思う」「次回のレベルアップ講座を期待します」など今回の講座を有意義なものと感じて下さった方も大勢いらっしゃったようでした。たくさんのご参加ありがとうございました。



ほぼ満員の会場



なるほど、なるほど...



分かりやすい講義に

集中力もUP！！



とても充実した時間でした

このコーナーでは毎月 2 名の図書館員がテーマ  
にもとづき、おすすめの本を紹介します！

図書館からあなたへ！

## ブック・バトン♪



- 左) 『ひろしま』石内 都/著 G748 イ(集英社)  
中央) 『ハンナのかばん アウシュビッツからのメッセージ』  
カレン・レビン/著 児童 316レ(ポプラ社)  
右) 『父と暮せば』井上 ひさし/著 B912.6 イ(新潮社)

昭和 52 年生まれの私は、32 歳という今の年齢を誕生日から遡ると昭和 20 年になると気が付いた時衝撃を受けました。遠い昔と思っていた時代が、逆に近づいたような奇妙な感覚に襲われたからです。写真集『ひろしま』に出会ったのは丁度その頃でした。あの日、広島少女たちが着ていた衣服に光が当てられ細部まで写し取られていることにより、モノクロでイメージしていた時代がカラーで浮かび上がります。愛らしい花柄の衣服を見ていると、葉に書かれた柳田邦男氏の言葉のとおり、それを着てあの日まで生きていた人たち一人一人の命を想像しないではられません。

ホロコーストの遺品である、かばんに書かれた名前から一人の少女の人生に辿り着く『ハンナのかばん』もきっかけはどんな持ち主だったのかという想像でした。少女の温かな家族を知り、写真や収容所で書かれた絵に出会うことで、その命が奪われたという悲しみを共感できるノンフィクションです。

被爆者の手記や物語で、大切な人を失った悲しみと同じくらい消えない心の痛みとして語られるのが、誰かを見殺しにしたという罪の意識です。それがテーマとなっている戯曲『父と暮せば』を読むと、心穏やかに人生を歩めたはずの人たちが負わされた苦しみを著者が温かな方法で救い出そうとしていると感じます。被爆者ではない人が描く物語は「虚構」ですが、私たちは、読み、見聞きすることを通して「思い」を体験できます。この想像力が失われる時、平和は脅かされるのではないのでしょうか。

(司書 O)

## 今月のテーマは「平和」です 😊



- 左) 『ラララ親善大使』紺野 美沙子/著 J333.8 コ(小学館)  
右) 『もうひとつのスーダン 日本人医師 川原尚行の挑戦』  
内藤 順司/写真 文 川原 尚行/文 T294.2 ナ(主婦の友社)

世界平和を願わない人はいないでしょう。しかし、その願いとは裏腹に、世界から争いが絶えることはなく、多くの人々が過酷な状況に置かれています。

国連開発計画 (UNDP) の親善大使を務める女優紺野美沙子さんの著書『ラララ親善大使』では、戦争が終わった今も地雷という悪魔の兵器に苦しむカンボジアや、争いが続くパレスチナの現状などが、とてもわかりやすく紹介されています。また、この本では、現地の人々の写真を多く見ることができます。その中で特に印象的だったのは、パレスチナの子どもたちが笑顔で写っている写真です。平和な日本で生まれ育った私には、想像もできないほど過酷な状況の中で生きている子どもたち。しかし、その笑顔はきらきらと輝いていました。

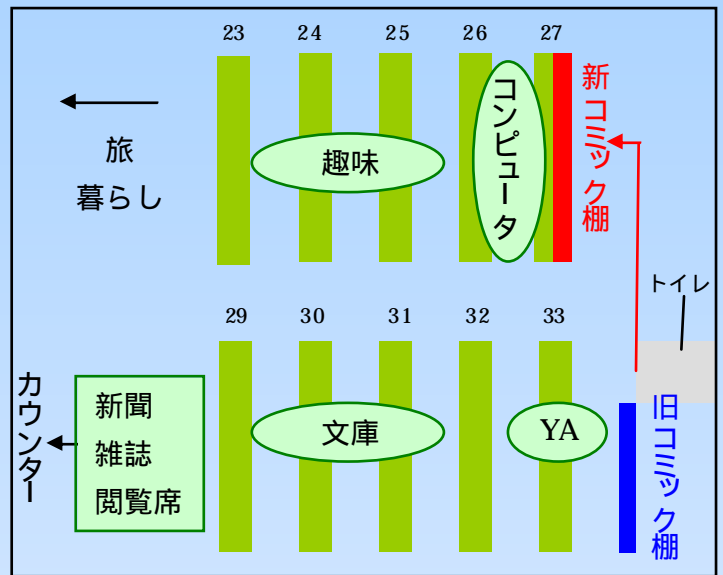
外務省の医務官を辞め、紛争が続くスーダンで医療活動を続ける川原尚行さんの姿を追った写真集『もうひとつのスーダン 日本人医師 川原尚行の挑戦』でも、スーダンの子どもたちの輝く笑顔を見ることができます。「決して無理をすることなく、自分にできることを、できるときに、できるだけやればよいのです。私もそうです。」と本書の中で川原さんは語っています。

私にできることはいったい何なのだろうか。子どもたちの笑顔を見るたびに考えさせられます。(司書 S)

# 長崎市立図書館からのお知らせ

## コミック棚の場所を変更しました

6月に行った蔵書点検期間中に、1階 YAコーナーの奥34番の棚にあったコミックを、27番の棚に移動しました。この移動にあわせ、コンピュータ・趣味・旅・暮らしのコーナーも、若干の棚移動を行っています。館内に案内も掲示していますが、資料の場所などが分からないときは、ご遠慮なくスタッフにお尋ね下さい。



## グループ学習室を開放しています

8/30(月)まで、グループ学習室を自習室として解放していますので、ご利用下さい。利用の際は下記の点にご注意下さい。

期間中図書館フロアから直接グループ学習室へは行けません。スタディールームと同様、多目的ホール横のBエレベータ、B階段からご利用下さい。

本来の利用目的に沿った予約が入っている場合、そちらの利用が優先されます。尚、ご予約の際は前日までにお申し込み下さい。

図書館フロアは、館内資料を読んだり、調べものをするためにご利用いただくフロアです。皆さんに気持ちよく使っていただくため、スタディールーム以外での自習はご遠慮下さい。



## 図書館ラジオ 7月の紹介本

毎月第2金曜日午後2時から長崎シティ FM (81.3MHz)「ウィークエンドパラダイス 813」内で放送中!!



「**魔法と金魚!**」  
中島 桃果子/著 幻冬舎F913.6ナカ

主人公の繭子は空を飛べない魔女。町で起こる様々な事件や自分の恋を通して、女性として成長していく...

7月の紹介本はこちら♪



## 予約ランキング 今月の1位は!?

予約数は10.7.17 現在のものです。

順位	タイトル	著者	出版社	予約数
1	夜行観覧車	湊 かなえ	双葉社	333
2	小暮写真館	宮部 みゆき	講談社	315
3	カッコウの卵は誰のもの	東野 圭吾	光文社	247
4	1Q84 BOOK 3	村上 春樹	新潮社	241
5	1Q84 BOOK 1	村上 春樹	新潮社	228
6	天地明察	沖方 丁	角川書店	225
7	新参者	東野 圭吾	講談社	216
8	プラチナデータ	東野 圭吾	幻冬舎	205
9	Nのために	湊 かなえ	東京創元社	161
10	死ねばいいのに	京極 夏彦	講談社	140

予約が集中している本は数ヶ月お待たせすることがあります。ご了承ください。